| 学校番号 | 1015 |
|---|---|

# 平成 31 年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 古典Ａ | 単位数 | ２ | 年次 | ２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校 標準古典Ａ 物語選（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 新総合　図説国語　改定新版（東京書籍） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

＊　１年次に引き続き、有名な古典作品に親しみます。
＊　予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
＊　登場人物の心情等を正しく理解するために、古典の基礎的な語彙力や文法の知識を身につけます。
＊　ノートやワークシート等は丁寧に整理して記入・作成しましょう。
＊　提出物の期限は守り、定期考査・小テストは計画的に学習をして取り組んでください。

## 2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a：関心・意欲・態度 | b：読む能力 | c：知識・理解 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。 | 古典作品から思想や感情を読み取る。人間・社会・自然などについて考察し、古典特有の表現を鑑賞する態度を身に付けている。 | 古典を読むために必要な語句の意味・用法・文の構造・文法・音声・表記等を理解し、基礎的な知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>（ノート・ワークシート等） | 行動の観察<br>指名音読<br>記述の確認<br>（ノート・ワークシート等）<br>発問評価 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート・ワークシート等）<br>定期考査・小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4　学習の活動

| 期 | 単元名 | 学習内容 | 評価の観点 a | 評価の観点 b | 評価の観点 c | 単元(題材)の評価基準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 前 | 随筆 | 『徒然草』<br>「公世の二位のせうとに」<br>「相模守時頼の母は」<br><br>文法等…歴史的仮名遣い<br>文語動詞の基礎 | ○ | ○ | ◎ | a 随筆を読み、古文に親しんでいる。<br>b 随筆を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間・社会などについて考察している。<br>b 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えている。<br>c 古文を読むことに役立つ、基礎的な文語のきまりを身につけている。 | a:授業態度<br>b:発問評価<br>b:指名音読<br>a:学習課題の提出<br>a:ノートの提出<br>c:小テスト<br>b, c:定期考査 |

| 期 | 単元名 | 学習内容 | 評価の観点 | | | 単元(題材)の評価基準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | | |
| 前 | 説話 | 『古今著聞集』<br>「小式部内侍が大江山の歌の事」<br><br>文法等…和歌の修辞 | ○ | ◎ | ○ | a 短い説話を読んで古文に親しみを持ち、内容を理解している。<br>b 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み深め、話のおもしろさを捉えている。<br>c 有名な和歌を含む説話を読み、和歌や和歌説話の特質、和歌特有の修辞を理解している。 | a:授業態度<br>b:発問評価<br>b:指名音読<br>a:学習課題の提出<br>a:ノートの提出<br>c:小テスト<br>b, c:定期考査 |
| | 物語㈡ | 『大鏡』<br>「道長の豪胆」<br><br>文法等…文語の形容詞<br>文語の形容動詞 | ○ | ◎ | ○ | a 戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉えている。<br>b 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心情を読み深めている。<br>c 敬語など、古文読解の基礎知識を確認し理解している。 | a:授業態度<br>b:発問評価<br>b:指名音読<br>a:学習課題の提出<br>a:ノートの提出<br>c:小テスト<br>b, c:定期考査 |
| | 故事・寓話 | 「助長」<br>「嬰逆鱗」<br><br>文法等…漢文訓読の基礎 | ○ | ○ | ◎ | a 漢文に親しみを持ち、話の内容を理解している。<br>b 故事や寓話にこめられた古代の中国の人のものの見方・考え方を捉えている。<br>c 漢文訓読のきまりを身につけている。<br>c 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改めることができる。 | a:授業態度<br>b:発問評価<br>b:指名音読<br>a:学習課題の提出<br>a:ノートの提出<br>c:小テスト<br>b, c:定期考査 |
| 後 | 漢詩の鑑賞 | 近体の詩<br>「鹿柴」<br>「絶句」<br>「峨眉山月歌」<br>「春夜」<br>「臨洞庭」<br>「遊山西村」<br><br>文法等…漢詩のきまり | ○ | ◎ | ○ | a 漢詩の表現の美しさに気づいている。<br>b 漢詩のさまざまな描写に接し、そこにうたわれているものを的確に捉えている。<br>b 詩に表現された作者の心情を、そのときの作者の境遇と合わせて理解できている。<br>c 漢詩のきまり(近体詩の詩形・押韻・構成・対句など)について理解している。<br>c 本文を訓点に従って正しく読むことができる。 | a:授業態度<br>b:発問評価<br>b:指名音読<br>a:学習課題の提出<br>a:ノートの提出<br>c:小テスト<br>b, c:定期考査 |
| | 物語㈡ | 『平家物語』<br>「能登殿の最期」<br><br>文法等…音便 | ○ | ○ | ◎ | a 和漢混交の流麗な文体やそのリズム等、表現上の特色を理解している。<br>b 軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み深めている。<br>c 音便や挿入句、中世の敬語や語彙に慣れ親しみ、その特色について理解している。 | a:授業態度<br>b:発問評価<br>b:指名音読<br>a:学習課題の提出<br>a:ノートの提出<br>c:小テスト<br>b, c:定期考査 |

| 期 | 単元名 | 学習内容 | 評価の観点 | | | 単元(題材)の評価基準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | | |
| 後 | 日記 | 『紫式部日記』<br>「日本紀の御局」<br><br>文法等…敬語 | ○ | ○ | ◎ | a 漢字や漢学の素養に関する記述から、日本の文化と中国の文化との関係について理解している。<br>b 日記を読んで、作者の思想や感情を読み取り、人間や社会などについて考察している。<br>b 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えている。<br>c 丁寧語「侍り」について理解している。 | a:授業態度<br>b:発問評価<br>b:指名音読<br>a:学習課題の提出<br>a:ノートの提出<br>c:小テスト<br>b, c:定期考査 |
| | 物語㈢ | 『源氏物語』<br>「光る君誕生」<br>「若紫」<br><br>文法等…敬語<br>和歌の修辞 | ○ | ◎ | ○ | a 和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を理解している。<br>b 長編物語を読んで、話のおもしろさを捉え、話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み深めている。<br>c 敬語や文法の知識を確認し、解釈にいかしている。 | a:授業態度<br>b:発問評価<br>b:指名音読<br>a:学習課題の提出<br>a:ノートの提出<br>c:小テスト<br>b, c:定期考査 |

※　表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　　b：読む能力　　c：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重み付けを行う観点について◎を付けている。